

令和5年7月19日開催

入広瀬小学校閉校後の  
利活用等ワークショップ

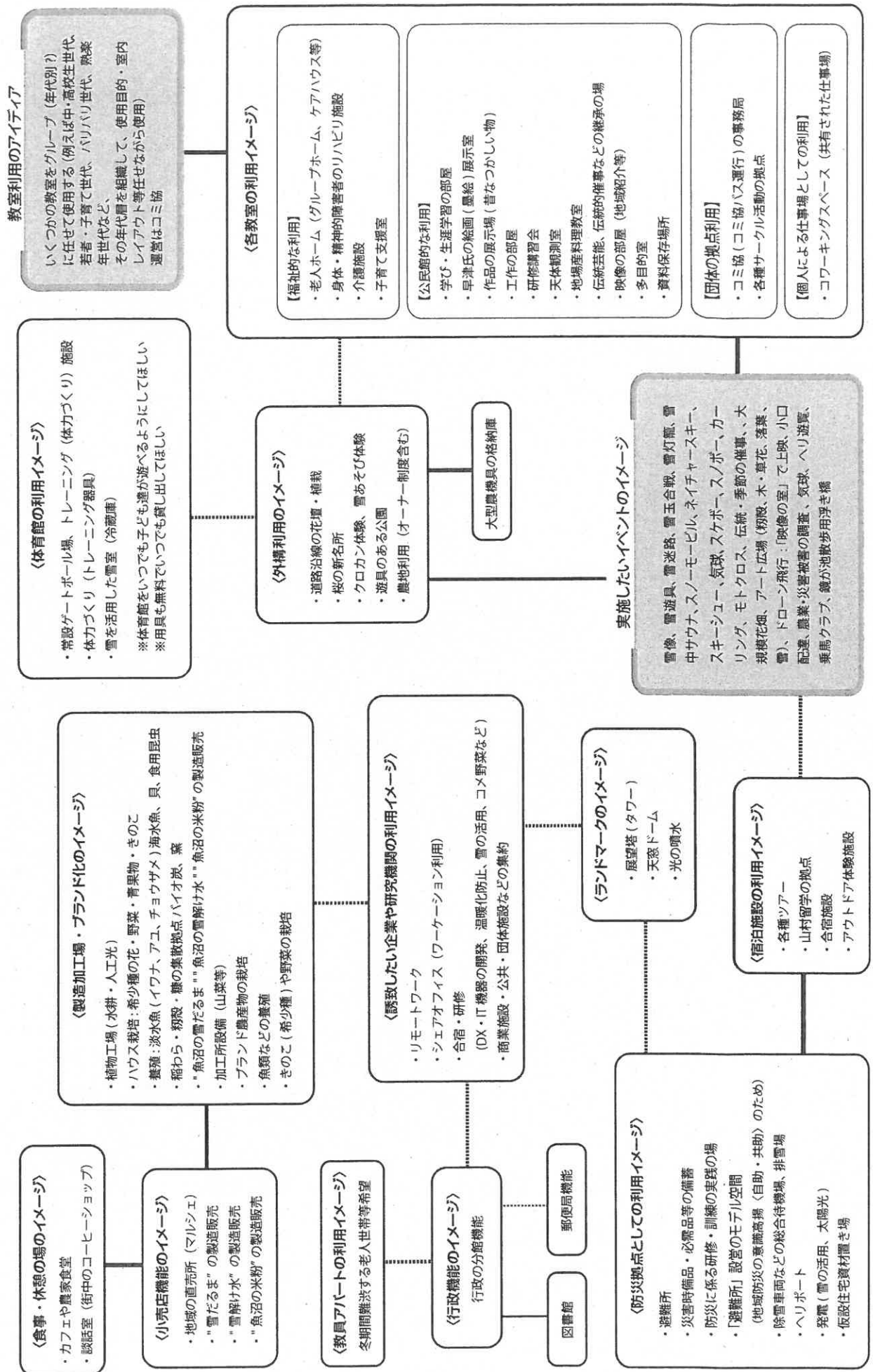
報告会資料





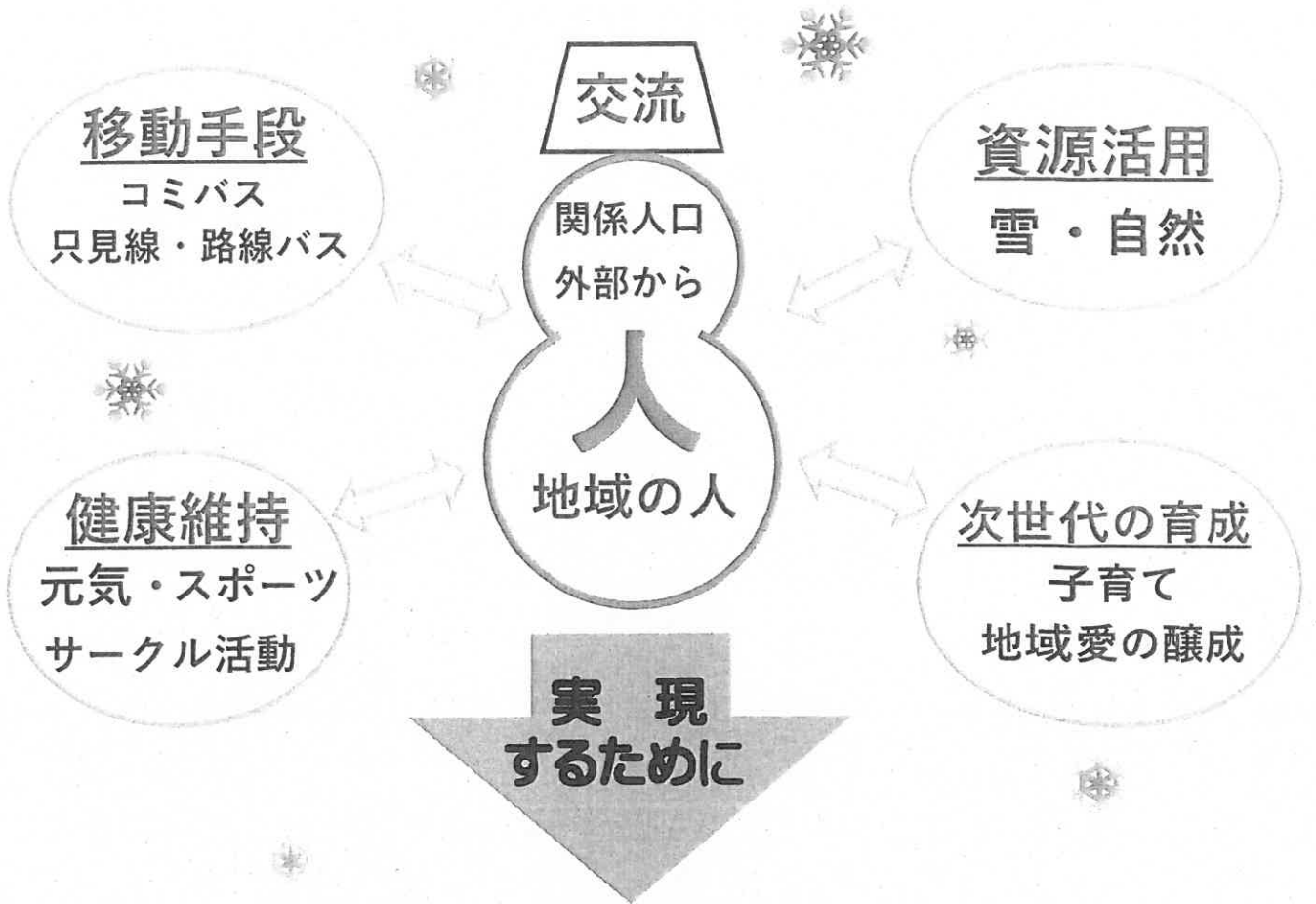


## 2. 具体的な利活用のイメージ案、アイデア



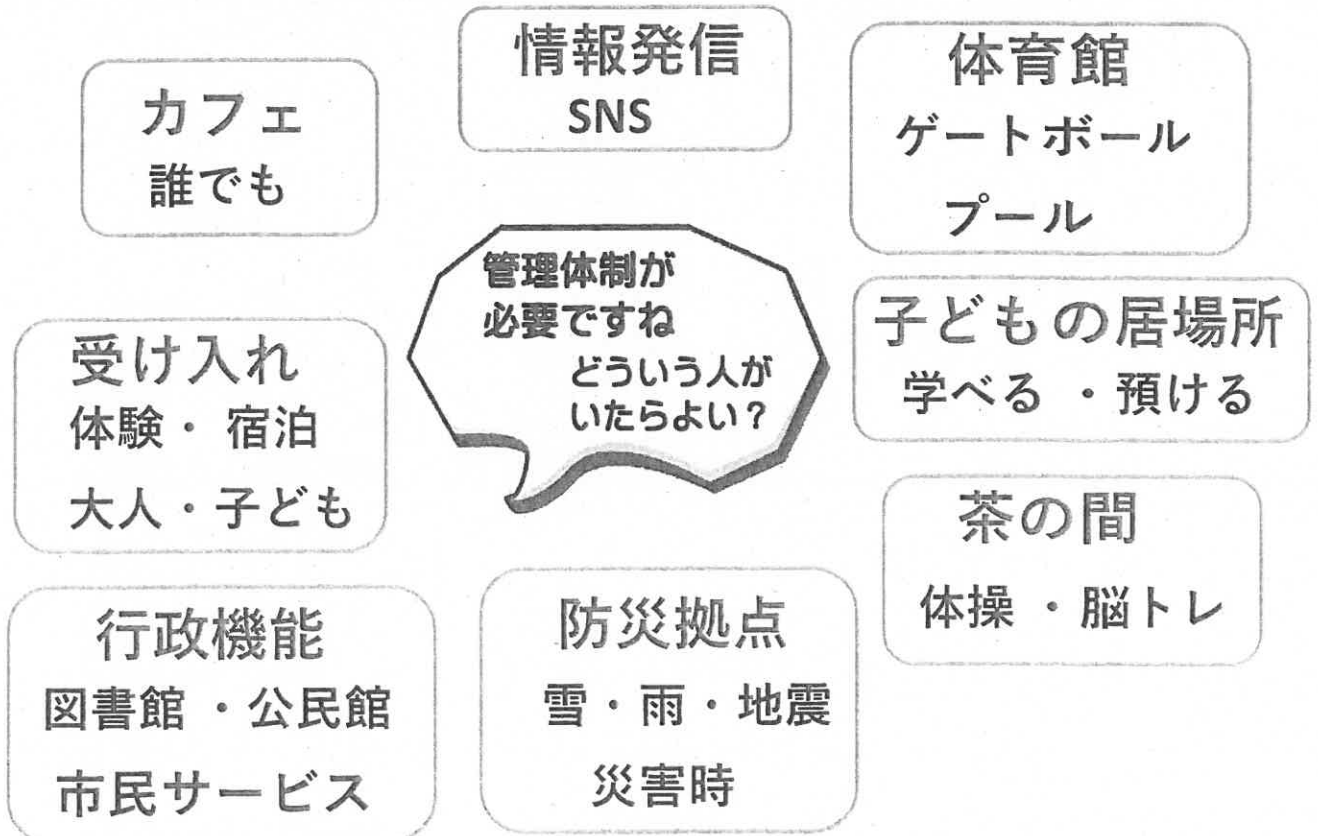


# 『入広瀬で安心して暮らす』



小学校を活用して

## 交流拠点 としていきたい







## 第2回 入広瀬小学校閉校後の利活用等ワークショップ意見まとめ

### ■ワークショップのテーマ

「この地域をどうしていきたい!?」～安心して楽しく暮らせる入広瀬～

#### 【地域に関する意見】

- ・この地域を諦めたくない。住民みんな子ども達も誇れる場所にしたい。関係人口に関係無く、外部からも内部からも人に注目されて、行ってみたい、住みたい、面白いと思える場所にしたい。
- ・須原小学校に編入するのではなく、逆に入広瀬小学校に入ってきてもらえば良かったのかもしれない。
- ・魅力的な物が有れば地元の人達は頑張る。行政任せでは駄目です。人が来たくなくなるようにする。自分達の力を見せる。
- ・入広瀬だけでなく守門も巻き込む。北部地域全体を見る。  
⇒子ども達より大人が線引きしている。
- ・関係人口を増やす為に SNS 等で発信(フリースクール、田舎暮らし)
- ・人づくりが必要(若い人や子ども達)
- ・人口が減るならコンパクトな地域づくり。
- ・奥の人達は町場に集団移転してはどうか。
- ・選ばれる地域、子供達が誇れる地域にしてほしい。
- ・一人一人が応援しあって、行政まかせではなく頑張る。
- ・雪は大切な資源。地元の人が発信する。
- ・雪下ろし体験が出来る地域にする。
- ・地域の方が安心して暮らすには、地域外への移動と雪とどううまくつきあっていくか。雪対策がクリアできれば、安心できる。
- ・若い人が増えるとよい。関係人口を増やす。
- ・元気な地域になってほしいは当たり前。子ども達が大人になって生活できるのか心配。  
⇒継続するためには、「選ばれる地域になる!」
- ・雇用が生まれ、人が動き、つながりができるという、良いサイクルが入広瀬でできればよい。
- ・人口が少ない、積雪量が多いなど、他所にはない価値を発掘し、磨き上げ、価値を高めたい。
- ・10年後も入広瀬を維持できているよう、現状維持。
- ・人口が少なくなる事によって、今までよりまとまりが生まれるのではないかと。コミ協が大切になる。(入広瀬小学校が)ベースキャンプとなるように利活用できればよい。

- ・入広瀬はとても素敵で良いところなので、もっと色々な人に知ってもらいたいし、地域内の方にも知ってほしい。
- ・SNSを活用し、発信に力を入れる。
- ・道の駅いりひろせは、年間来場者数がこれまで4万人ほどだったが、昨年度は6万人となった。入広瀬を目的地として来る人が増えている。  
⇒関係人口が増えているかも。
- ・入広瀬はサークル活動が活発なので、人の輪が繋がるとよい。

#### 【利活用に関する意見】

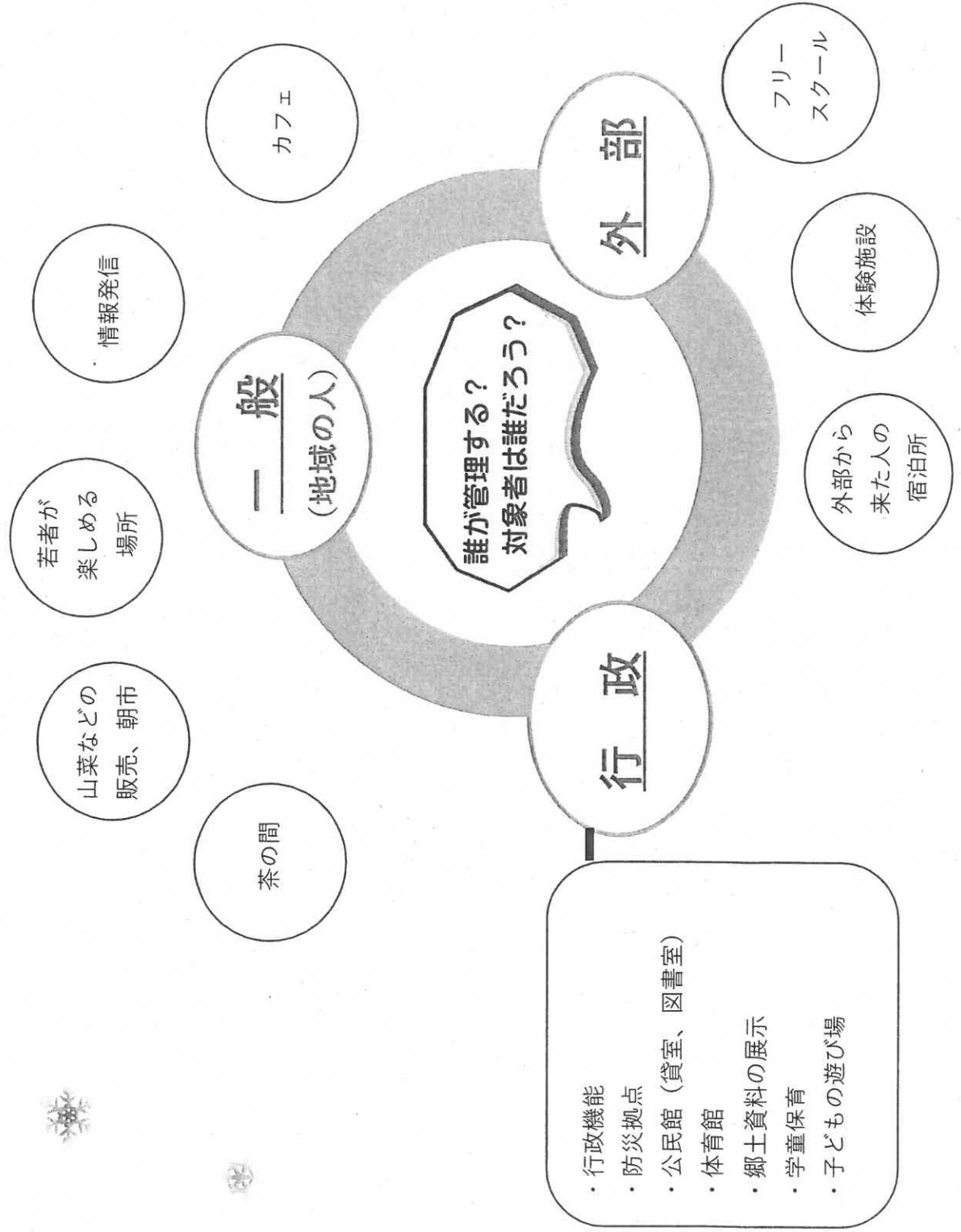
- ・体験農業を通して、外部の方から作業してもらおう⇒関係人口を増やす。
- ・庁舎を小学校へ移転する。⇒子どももお年寄りも安心。雪の心配がない。
- ・体験型農業の人達の宿泊施設にしてはどうか。
- ・企業誘致、企業貸し出し等をしてはどうか。⇒仕事場ができる
- ・湯之谷庁舎のプレステージみたいな使用が良いのではないか。
- ・空き施設を貸し出す。(教員住宅も含めて無料で)
- ・施設をいつ来ても使用できるように、管理人を含む管理体制を作ってはどうか。
- ・保育園、児童館、学童保育、老人施設等をまとめた施設にしてはどうか。⇒自由に楽しく過ごせる。
- ・子育て世代を呼び込む為に、公営住宅を無償で貸し出す。
- ・プールを釣り堀にし、夏の田舎体験施設を作る。⇒楽しい思いでづくり。
- ・コロナ以降外出しなくなったので、高齢者用喫茶店を作る。地域の茶の間にする。  
⇒年配の方が健康であるため。
- ・山村留学施設にしたら良い⇒チャンス!!活気。にぎやかになる。まわりが元気になる。
- ・Zoomネットで学習、フリースクール、分校等にする。  
学校嫌いな子ども達も、魅力的なものがあれば来る。

#### 【その他】

- ・魚沼北中をスポーツでも何でも良いから、日本一にして地域の知名度を上げる。
- ・何かしたとしても魚沼市は丸投げする。
- ・魅力的な事が削られているのに、先をどう見ていったら良いかわからない。
- ・市は利用料をとりたいのか？

# 『入広瀬で安心して暮らす』ために

## 小学校を活用して交流拠点としていきたい





### 第3回 入広瀬小学校閉校後の利活用等ワークショップ意見まとめ

#### ■ワークショップのテーマ

「前回出た意見をもとに具体的な利活用を考えよう」

#### 【行政】

##### □行政機能

- ・図書館+学習スペース
- ・公民館
- ・市民窓口コーナー
- ・行政文書の倉庫
- ・選挙の投票所
- ・コピーサービス
- ・証明写真

##### □子どもの居場所

- ・今の学童を丸々移転
- ・児童館…ボルダリング、とびばこ、ボール遊び、児童館の一角に学童スペース
- ・子どもの魅力的な遊び場
- ・子どもの外あそび
- ・子育てママのいやしの場(夕方、土日)

##### □フリースクール

- ・専門的な人がいた方がいい
- ・市外、県外の家族
- ・フリースクール(不登校の子ども)分校

##### □体育館

- ・防災避難所…パーテーション、段ボールベッド

##### □郷土資料展示

- ・管理
- ・外部からきた子ども達の受け入れに活用してもらう

【一般(地域の人)】

□朝市

- ・もの好き村みたいな感じ
- ・山菜、きのこ→担い手が不足…
- ・他にないモノ、付加価値、マコモダケみたいな…
- ・山菜を売りたい→鏡ヶ池で売るのは？

□カフェ 茶飲み場

- ・やりたい人を募集したら来る？
- ・曜日を決めて営業
- ・最初はやる人が投資(お茶を購入する代金等)
- ・セルフサービス
- ・テレワークカフェ
- ・自分で作るカフェ
- ・よその人が名物楽しむカフェ
- ・雪室利用カフェ
- ・障がい者、高齢者が働けるカフェ
- ・地域の人が気軽にカフェ

□茶の間

- ・気楽に茶飲みができる場→場所として使ってもらう
- ・茶菓子代は茶の間の補助で出せる
- ・将来的に各茶の間同士の交流の場に(コミバスを使って来る)
- ・娯楽、将棋
- ・山菜はどんな食べ方があるのかみんなで意見交換してみたら

□手もんづら

- ・年配の方の力を使う
- ・交代制(一人では難しい)

□情報発信

- ・地域の情報を発信してもらう
- ・若い人から情報発信してほしい
- ・スマホ教室

【外部】

受け入れ

- ・観光協会
- ・教員住宅…体験者が泊まれるところに
- ・子どもの時、学校でやれなかったことを大人になってからやれる場所
- ・仕事場として活用
- ・若い人の楽しめる所
- ・体験者の活動基地
- ・企業の新人研修の場所

情報発信

- ・遊びに来た人から発信してもらう
- ・当番制で地域の人がお茶出し
- ・地域のお母さんたちがおもてなし(自分たちも楽しみながら)
- ・お母さんの手作り料理でおもてなし

フリースクール

- ・専門的な人がいた方がいい
- ・市外、県外の家族





## 入広瀬小学校閉校後の利活用に関するご意見

今後の施設利活用を検討する際の参考とするため、施設の使い方や必要な機能、地区の将来についてなど自由にご記入ください。

- ★ 校舎については、ピロティを 駐車場や物置に使用
- ★ 2階から4階部分は、エレベーターが無いため、  
高齢者が多い地域としては、使用方法は限定される。
- ★ 体育館は、災害時における避難所としての機能と活用価値は大きい。又、ランチルームと多目的室は、会議や集会等で活用するとともに、管理人を置いて、以前の「やすらぎ苑」のように、気軽にいつでも誰でも集まる場所として、お茶やコーヒーを飲みながら喋ったり、ゲームなどで遊ぶ場所として使ってはどうか、さらに体育室は、運動不足解消と健康増進のための活用方法もあると思います。

地域の新たな憩いの拠点として、体育館全体を使ってはどうか。

- ★ 以前の「子供の家」のような機能を兼ね備えた施設に活用

- ★ 入広瀬会館の取り壊しにより現在事業所の移転

■提出先 入広瀬分室、北部事務所地域づくり係

■提出期限 令和5年6月30日(金)



令和5年5月12日

入広瀬区長 各位

魚沼市役所 北部事務所  
所長 米山 真里

### 入広瀬小学校閉校後の利活用方法の意見とりまとめについて(お願い)

日頃から、魚沼市行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、現在令和5年3月に閉校となった入広瀬小学校の校舎等を今後に活かしていくため、アンケートの実施や市民有志の検討委員でワークショップを行い、校舎等の利活用について検討しています。

第2回目のワークショップでは、「NPO 法人まちづくり学校」の大滝聡氏へアンケートによる意見の全体集約を依頼し、まとめられたものを基礎として「入広瀬地域をどうしていきたいか」について検討しました。

つきましては、入広瀬区長の皆様からも利活用についてご意見をいただきたく、添付の「入広瀬小学校閉校後の公共施設の利活用に関するアンケートのまとめ」をご覧の上、ご意見がありましたらご提出をお願いいたします。

#### 記

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 1.提出方法 | 別添の様式に記入                    |
| 2.提出先  | 入広瀬分室、北部事務所地域づくり係           |
| 3.提出期限 | 令和5年6月30日(金)                |
| 3.その他  | 不明な点は、下記問い合わせ先にご連絡をお願いいたします |

#### 【問い合わせ先】

魚沼市役所 北部事務所

■入広瀬分室

TEL:025-796-2311 FAX:025-796-2767

■地域づくり係

TEL:025-797-2360 FAX:025-797-2313

## 入広瀬小学校閉校後の利活用に関する意見

### 小学校校舎

使用方法は企業の研修センターとして貸し出す、泊まりは各民宿に泊まる事で民宿の収入につながる

都会から子供を呼んで勉強をして、入広瀬の四季の体験学習をして地域の人ともっと交流し、都会では経験をしていない事を 今も東京からきているけど子供達は見えな  
い

### 教員アパート

一人暮らしのアパートとして使用する隣が居れば少しは安心が出来ると思います。



令和5年5月12日

入広瀬区長 各位

魚沼市役所 北部事務所  
所長 米山 真里

### 入広瀬小学校閉校後の利活用方法の意見とりまとめについて(お願い)

日頃から、魚沼市行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、現在令和5年3月に閉校となった入広瀬小学校の校舎等を今後活かしていくため、アンケートの実施や市民有志の検討委員でワークショップを行い、校舎等の利活用について検討しています。

第2回目のワークショップでは、「NPO 法人まちづくり学校」の大滝聡氏へアンケートによる意見の全体集約を依頼し、まとめられたものを基礎として「入広瀬地域をどうしていきたいか」について検討しました。

つきましては、入広瀬区長の皆様からも利活用についてご意見をいただきたく、添付の「入広瀬小学校閉校後の公共施設の利活用に関するアンケートのまとめ」をご覧の上、ご意見がありましたらご提出をお願いいたします。

#### 記

- 1.提出方法 別添の様式に記入
- 2.提出先 入広瀬分室、北部事務所地域づくり係
- 3.提出期限 令和5年6月30日(金)
- 3.その他 不明な点は、下記問い合わせ先にご連絡をお願いいたします

#### 【問い合わせ先】

魚沼市役所 北部事務所

■入広瀬分室

TEL:025-796-2311 FAX:025-796-2767

■地域づくり係

TEL:025-797-2360 FAX:025-797-2313